

# 慈光

## 仏さまの世界とはどんなところか？（浄土とはなにか）

お檀家の皆さまは仏さまの世界についてどのくらい知っているでしょうか。そもそも仏さまの世界についてどういうこと？という方も中にはいるかもしれません。そこで、今日はできるだけ簡単に仏さまの世界についてお伝えしようと思います。

仏さまと一言で言つても、数限りなくいます。皆さまに聞き馴染みのある方をあげると、阿彌陀さまやお薬師さま、お不動さまといったように種々存在しています。そのような仏さまたちにも自分だけの世界、つまり国のようなものを持つていています。そのように、仏さまたちが持つている世界のことを「浄土」や「仏国土」といいます。一般の方にも聞き馴染みのある「浄土」は「西方極樂淨土」ではないでしょうか。これは、阿彌陀さまが管轄する浄土のことであり、阿彌陀さまは西の彼方の浄土に居て、すべての人々を

お檀家の皆さまは仏さまの世界についてどのくらい知っているでしょうか。そもそも仏さまの世界についてはどういうこと？という方も中にはいるかもしれません。そこで、今日はできるだけ簡単に仏さまの世界についてお伝えしようと思います。

見守つてくれています。しかし、何も阿彌陀さまだけが自分の浄土を持つていてはなりません。お薬師さまが持つている浄土は「東方淨瑠璃浄土」というものです。阿彌陀さまと対を為す、東側を司る仏さままであります。この他にもさまである仏さまが持つているのは、「○○如來」や「○○菩薩・觀音」といった仏さまたちとなります。紙面の都合上、ここでは他の仏さまの浄土の名称については割愛させていただきます。それでは次に浄土の世界がどのようなところかについて説明していきます。

仏さまたちが持つ浄土は、その仏さまの特性に依つて世界観は異なってきますが、仏さまの浄土に共通する特徴もあります。一番の特徴を挙げるならば「きらびやかな川には浴場があり、浴場の土は金で敷き詰められ、生えていて樹木には七宝（金、銀、瑠璃、玻璃、碑礎、珊瑚、瑪瑙）が掛けられています。特徴の一部分だけを挙げま

第73号  
2019.1.1発行

宝巖院  
川口市安行慈林  
954  
TEL  
048(281)3321  
FAX  
048(281)3305

か」という点です。仏さまがお住まいになる建物は、宝石などを編み込んだ装飾品で覆われ、庭園にある池には常に蓮が咲き誇り、流れは金で敷き詰められ、生えていて樹木には七宝（金、銀、瑠璃、玻璃、碑礎、珊瑚、瑪瑙）が掛けられています。特徴の一部分だけを挙げましたが、これだけでも仏さまの浄土のきらびやかさが伝わるのではないかでしょうか。生きているわれわれが行つたら、宝石など装飾品などがきらびやか過ぎて、目がくらんでしまうそうです。しかし、仏さまたちは煩惱などから抜け出していくため、それらの宝石なども惑わされることがないのです。宝石や装飾に惑わされることなくなったときに、一人前の仏さまとし得認められるのだと思います。

これまで一般的な仏さまの浄土の特徴について挙げてきましたが、多くの仏さまの浄土ははるか彼方にあるものです。これからは、今までの仏さまとは少し異なる性質を作りになつていています。仏さまもお寺に行つたときには、できるだけ境内やお堂の外観、そして本堂内の本尊さまがいる内陣などを良く見ていただけると、今までとは違つた見え方になるのではないかと思います。

あまり纏まりの無い内容となつてしましましたが、皆さまに少しでも真言宗の浄土のイメージ

（6ページに続く）

# 初薬師大護摩修行(ご縁日)

平成31年1月8日 午後12時半から法話 13時より護摩修行

## 慈林薬師大護摩

慈林薬師では毎月8日ご信徒の諸願成就を祈祷する御護摩を修法しています。御護摩の靈験利益は、数限りなく古来多くの方から信仰をいただいております。

### 御護摩とは

薬師如来を御本尊とし、その前に壇を設け、さまざまの供物を捧げ、護摩木という特別なまきを焚いて御本尊に祈る真言宗の秘法です。御護摩の火は智慧を象徴し、まきは煩惱を表わしています。御護摩の祈祷を通じてまきという煩惱を薬師如来の智慧の炎で焼きつき、ご信徒とともに、ご信徒の願いが清浄な願いとして高まり成就することを祈ります。

### ◆護摩願意一覧◆

家内安全	災難消除	作業安全	交通安全
商売繁盛	当病平癒	工事安全	必勝祈願
身体安全	無病息災	旅行安全	方災消除
厄災除	手術成就	開運満足	六三除
心願成就	負傷平癒	入学成就	虫封
安産満足	社運隆昌	合格成就	御札
身上安全	事業繁栄	学業成就	
火難消除	工場安全	就職成就	

〈隨時お祓い、七五三の受付〉

### ◆お護摩料◆

特別大護摩料 30,000円以上  
大護摩料 10,000円  
護摩料 5,000円、3,000円

(1.ページより続く)

を持つてもらうため、最後に密厳淨土について詠われた「密厳国土和讃」という御詠歌の詩で終わると思います。

「土より出でて美わしく濁りに染まぬ白蓮の清き尊きその香り大地ぞ花の母なれや悟りの道に入りぬれば怒りも欲もさながらに遍く照らす慈悲の色仏ぞ人の精なれやみ仏居ます現世はそのまま永遠の春にして小鳥の歌も法の声是ぞ密嚴國なれや

### 体験夏祭り

#### 初開催のご報告!

去る平成30年8月26日(日)に、初開催となる体験夏祭りを開催いたしました。「体験夏祭り」と名を打ったのには理由があります。多くの檀家の方々の中には、「お寺はお葬式や法事、お護摩でしか行かないところ」という印象を持たれている方が少なからず居ると思います。

そのような硬いイメージを無くしてもらうため、さまざまな体験を通して、仏教やお寺を身近な存在に感じていただき、お寺に気軽に足を向けてもらおうとの

きっかけ作りとして体験夏祭りを開催いたしました。

さて今回の体験夏祭りは初開催にも関わらず、総勢100名を超える多くの皆さまにご参加いたしました。今回参加された皆さまが体験した内容は、「写経」や「写仏」、「四国八十八カ所お砂詠」といった宗教体験を主としたもの、「腕輪数珠つくり」や「蓮灯ろう」といった工作を主としたもの、そして近年町会などでも行われる場所が減った「竹で作った流しそうめん」など、さまざまな体験をしていただきました。

普段なかなかすることのない体験を通して、お寺や仏教に対するイメージが実際に変わったのではないかと思います。それは、参加された皆さまから寄せられた多くの好評の声からも感じることができました。より多くの皆さまにお寺でしかできない体験をしていただためにも、ぜひ来年も開催したいと思いますので、ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

最後に、今年の初開催に際して、お手伝いいただいた檀家役員の皆さまや業者の皆さま、そして御寄付をいただいた皆さまには大変感謝しております。ありがとうございます。